

桶川市商工振興計画（案）に関する意見等の募集結果

- 1 実施期間：令和6年12月6日（金）～令和7年1月6日（月）
- 2 意見件数：4名／30件
- 3 提出された意見等及び提出された意見等に対する市の考え方：以下のとおり

【募集結果一覧表】

全般

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
1		国外、国内など、県外に挑戦できる地域産業を育成していくことの重要性について、言及がありません。 その為の方策を明示してください。	本計画につきましては、本市の最上位計画である「桶川市第六次総合計画」に基づき、その将来像や政策、施策などから、本計画の「基本目標」、「10年後の在りたい姿（状態）」、「取組」までを体系立てて構成しています。 本計画では、本市が広域交通網の要衝であり、道の駅の開業と併せてさまざまな相乗効果を期待することなど、地域特性を踏まえた内容となっていますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 25ページ 商業の振興「③新たな事業を起こす小規模事業者の活動を支援」の「取組」 「創業相談にかかわる支援の体制や窓口での対応力を強化するとともに、既存の事業者も含めた新事業の立ち上げやビジネスモデルの試行等、さまざまなチャレンジと事業基盤の

			確立に向けた取組を支援し、産業の育成にも努めます。」 ３０ページ 工業の振興「⑧関係機関と連携・協力し、企業の競争力向上のための支援」の「取組」 「ソフト面から道路交通網等ハード面までのさまざまな地域資源を生かした生産・加工から流通、販路の開拓等、個々の事業の推進と安定、拡大に向けた取組の支援と併せて、グローバル化における企業の生産性の向上や技術力の強化等、産業の育成を支援します。」
2		道路網など、桶川市の地域特性を活かした産業育成の方策を示してください。	本計画の「取組」では、本市が広域交通網の要衝であり、道の駅の開業と併せてさまざまな相乗効果を期待することなど、地域特性を踏まえた内容となっていますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 ３０ページ 工業の振興「⑧関係機関と連携・協力し、企業の競争力向上のための支援」の「取組」 「ソフト面から道路交通網等ハード面までのさまざまな地域資源を生かした生産・加工から流通、販路の開拓等、個々の事業の推進と安定、拡大に向けた取組の支援と併せて、グローバル化における企業の生産性の向上や技術力の強化等、産業の育成を支援します。」

3		農業、商業、工業がコラボレーションできる方策を明示してください。	本計画の基本目標に、「多様な産業が連携・振興できる」ことを掲げており、１０年後の在りたい姿（状態）におきましても、「繋がり」や「連携」をイメージしています。 これらを踏まえて、個々の取組につきましても、同業種、異業種問わずにさまざまな事業者間の連携を見据えたものとなっていますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 １９ページ 「事業者・市民・市役所・商工会が連携している」 ２４ページ 商業の振興「②各種商業関連団体との連携や活動の支援」の「取組」 「さらに、地産地消の取組や産業・観光の面などさまざまな地域資源を生かした取組の活性化や・・・支援します。」
4		細かく指摘できるような、パブコメに値しない計画であり、もう少し、大きな視野での計画に修正をしていただきたい。経団連や経済同友会、埼玉県振興計画や経済団体の指針などを参考にしたらいかがか。	本計画につきましては、本市の最上位計画である「桶川市第六次総合計画」に基づき、その将来像や政策、施策などから、本計画の「基本目標」、「１０年後の在りたい姿（状態）」、「取組」までを体系立てて構成しています。 併せまして、「国内の動向」や「桶川市の概況」において、現在の本市を取り巻く状況や地域の特性、今後への期待や展開などについて記載しており、本計画はこれらを踏まえて検討し、まとめています。 いただいた御意見につきましては、今後の取組内容を検討

			する際の参考とさせていただきます。
5		今後、桶川市が関わる商品券や給付金で紙媒体を使うのはやめて欲しいです。 郵送代や人件費（JTB 等）のコストが数千万円かかっていることを知り、あまりにもばかばかしいです。 昨年リニューアルされた新型のべにばなカードに着目してください。このインフラをぜひ使ってほしいです。	本計画につきましては、本市の最上位計画である「桶川市第六次総合計画」に基づいて、体系立てて構成しており、その個々の「取組」において、現在ある地域の資源を活かすことも念頭において、まとめています。 いただいた御意見につきましては、今後の取組内容を検討する際の参考とさせていただきます。

第2章 現在の社会情勢

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
6	P. 8 1 国内の動向	現在の社会情勢で、SDGsに触れていない。 経済活動を論ずる上で、不可欠なものである。	本計画のなかで、取組を行う上で押さえる現在までの情勢として、「国内の動向」や「桶川市の概況」において、現在の社会環境や本市を取り巻く状況、地域の特性等について記載しており、本計画はこれらを踏まえて検討し、まとめているので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 8 ページ 「戦後の復興から昭和の高度経済成長期を経て、時代は平成、令和へと移り、かつての大量生産・大量消費の時代から大きく変化しており、平成27年（2015年）には、国連でSDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）が採択され、人々の暮らしや社会の多様性、経済、環境

			等の分野など１７のゴールを掲げて、目標期間の令和１２年（２０３０年）に向けて世界が取り組んでいます。日本国内においても、持続可能な循環型経済・社会の実現を目指したさまざまな取組が進められており、今後も新たなニーズや社会環境の変化に柔軟に適応していくことが求められています。」
--	--	--	---

第３章 桶川市の商工業の現況

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
7	P. 13 1 桶川市の現状	就業者と雇用者の定義を注釈で入れる。	いただいた御意見を受けまして、13ページの最後に、「※就業者とは、収入を伴う仕事をしている者」「※雇用者とは、就業者のうち、企業等に雇われている者」を追加します。
8	P. 14 1 桶川市の現状 (3) 桶川市の産業構造	産業構造の表がわかりにくい。 件数とあるが、農業・林業が1件という意味が不明。	表内の件数につきましては、総務省統計局が公開する、「平成28年経済センサス-活動調査 産業（小分類）別民営事業所数及び従業者数-全国、都道府県、市町村」及び「令和3年経済センサス-活動調査 産業（小分類）別全事業所数-全国、都道府県、市町村」に基づくものですので、原案のとおりとさせていただきます。御理解を賜りたく存じます。 なお、農業、林業が1件であることにつきましては、経済センサス-活動調査において、農業、林業に属する個人経営の事業所が対象外となっていることによるものです。 また、次のとおり改めます。 14ページ

			「本市の産業は、卸売業、小売業が全事業所数の約２割を占めている。」 １５ページ 「２ 桶川市の商業の概況」 １６ページ 「３ 桶川市の工業の概況」
--	--	--	--

第４章 基本目標と１０年後の在りたい姿（状態）

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
9	P. １７	第４章 基本目標と１０年後の在りたい姿（状態）とあるが、望まれる姿、またはあるべき姿、などの方がわかりやすい。	第４章では、基本目標とともに、計画期間である１０年後に、個々の事業者等が本市の商工振興に取り組んでいく主体として「どう在りたいか」「どのような姿（状態）で在りたいか」ということを検討して、「１０年後の在りたい姿（状態）」を記載しています。 いただいた御意見の「望まれる姿」や「あるべき姿」も含めて思い描いているものでございますので、御理解を賜りたく存じます。
10	P. １８ １ 基本目標	働きたい・住み続けたいと思うまち、とあるが、市民が働きたいとの意味か？ 市外から働きに来ている人は対象としないという事なのか。住み続けたいは削除したらどうか。	本計画の対象につきましては、市民に加えて、市外の方々も広くイメージしているものです。 具体的に、「働きたい」については、市内外の方々をイメージしています。 また、「住み続けたい」については、現在の市民が長く住み

			続けたいと思っていただける「まち」であることと併せて、現在市外にお住まいの方、もしくは、新しく本市の住民となっていた市民の皆様におきまして、その後も長く住み続けたいと思っていただける「まち」であることを思い描いているものです。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 18ページ 「働きたい・住み続けたいと思えるまち」は、にぎわいと活力あるなかで、市内外の多くの人々が、桶川で働きたいと思えるまち、また、長く住み続けたいと思えるようなまちの未来の姿を表しています。」
11	P. 18 1 基本目標	地産地消の取り組み、の実施も目標にしたかどうか。市民がまず、市内の小売事業者で購入すること、応援できる仕組みづくりや企画の実現は必須である。	本計画につきましては、本市の最上位計画である「桶川市第六次総合計画」に基づき、さまざまな地域資源を活かすことを考慮して計画をまとめており、地産地消についても念頭においています。 御意見をいただいた地産地消については、第6章「計画の実現に向けて」の「市民の役割」において、「地産地消を心がける」と記載しています。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 24ページ 商業の振興「②各種商業関連団体との連携や活動の支援」の「取組」

			「さらに、地産地消の取組や産業・観光の面などさまざまな地域資源を生かした取組の活性化や・・・支援します。」
12	P. 19 2(1) 10年後の 在りたい姿(状態)	6つをイメージとあるが、SDGsや、温暖化に対応する経済活動に触れていない。事業者の社会的責任なくして、今日の経済活動はありえないにも関わらず、視野狭さくである。	10年後の在りたい姿(状態)の6つのイメージにつきましては、本計画の「基本目標」を定めた上で、これを実現するための商工業の10年後の在りたい姿(状態)をイメージすることで、今後の取組につなげていく形として構成しています。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり追加します。 19ページ 「そして、国内外で着実に進められている持続可能な循環型経済・社会等の実現に寄与し、人々の心豊かな暮らしにもつながります。」
13	P. 19 2(1) 10年後の 在りたい姿(状態)	「若者・女性・高齢者・障害者など、多様な人材が活躍できている」とあるが、外国人が抜けている。在日外国人を始め、人口減少に向かっているわが国での外国人労働者は不可欠である。	10年後の在りたい姿(状態)の6つの中の1つ「若者・女性・高齢者・障害者など、多様な人材が活躍できている」につきましては、日本人に限らず外国人なども含めており、多様な人材を念頭においているものです。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 19ページ 「若者・女性・高齢者・障害者・外国人など、多様な人材が活躍できている」

14	P. 19 2(1) 10年後の 在りたい姿(状態)	「商工業者・市民・市役所・商工会が連携している」とあるが、意味不明。主語・述語、目的語が不明。何を連携するのか、明確に。	本市の商工業の発展のために4者が各々の役割を果たし、連携して取り組んでいる姿(状態)が実現できているイメージを記載しています。 他の5つについても同様ですが、10年後にそのような姿(状態)であることを理想として目指すものであり、より多くの市民や商工業者、関係者がそう思える姿(状態)にあることを目標としているものとなっていますので、御理解を賜りたく存じます。
15	P. 19 2(1) 10年後の 在りたい姿(状態)	労働環境に全く触れていないのは不可解。所得の上昇や、各種休暇や子育て支援策の充実などの多様な労働が可能な環境の整備、がない。	いただいた御意見につきましては、10年後の在りたい姿(状態)の6つの中の1つ「若者・女性・高齢者・障害者・外国人など、多様な人材が活躍できている」に含み記載しており、また、第5章の取組や第6章の計画の実現に向けた4者の役割のなかでも記載しています。 いただいた御意見につきましては、今後の取組内容を検討する際の参考とさせていただきますので、ので、御理解を賜りたく存じます。
16	P. 20 2(2) 10年後の 在りたい姿(状態) のキーワード	キーワードにグローバル化が抜けている。世界を相手にした産業構築が必要であり、インバウンドも意識していないのは、後ろ向きである。 また、働く者の人権の尊重や労働環境の改善などが無い。	10年後の在りたい姿(状態)の6つのイメージを端的に分かりやすくキーワードとして示しています。 いただいた御意見にあります通り、グローバル化やインバウンド、労働環境等の近年の動向も踏まえまして、基本目標と10年後の在りたい姿(状態)、キーワードを記載していますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。

			８ページ 「一方、国内産業は、グローバル化のなかで半導体等のテクノロジー開発やＩＴ関連の進展をはじめとして各分野で技術革新が進んでおり、第一次産業から自動車や電気機器等のメーカー、小売や物流、サービスまで、さまざまな業界で生産効率の向上や販路の開拓等に加え、カーボンニュートラルなど環境対策への取組も加速し、新たな需要創出や拡大と併せて、企業等における社会的責任の意識向上と実効性のある取組実施の動きも目立っています。」
17	P. 20 2(2) 10年後の 在りたい姿(状態) のキーワード	ありたい姿のキーワードにも、SDGsが中心であり、社会性がない経済活動は、今や、世界から相手にされない。	10年後の在りたい姿(状態)の6つのイメージを端的に分かりやすくキーワードとして示しています。 いただいた御意見にあります通り、国内外におけるSDGsの取組も踏まえまして、基本目標と10年後の在りたい姿(状態)、キーワードを記載していますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 ８ページ 「戦後の復興から昭和の高度経済成長期を経て、時代は平成、令和へと移り、かつての大量生産・大量消費の時代から大きく変化しており、平成27年(2015年)には、国連でSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)が採択され、人々の暮らしや社会の多様性、経済、環境等の分野など17のゴールを掲げて、目標期間の令和12年(2030年)に向けて世界が取り組んでいます。日本国内

			においても、持続可能な循環型経済・社会の実現を目指したさまざまな取組が進められており、今後も新たなニーズや社会環境の変化に柔軟に適応していくことが求められています。」
--	--	--	---

第5章 計画の体系と取組

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
18	P. 22 1 計画の体系	SDGsの要素がない計画の体系は、未来が見えない。工業団地事業者や新規参入者との連携やさらなる産業創造などが、イメージできない。取組みもかなり不足がみられる。	いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 8 ページ 「戦後の復興から昭和の高度経済成長期を経て、時代は平成、令和へと移り、かつての大量生産・大量消費の時代から大きく変化しており、平成27年（2015年）には、国連でSDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）が採択され、人々の暮らしや社会の多様性、経済、環境等の分野など17のゴールを掲げて、目標期間の令和12年（2030年）に向けて世界が取り組んでいます。日本国内においても、持続可能な循環型経済・社会の実現を目指したさまざまな取組が進められており、今後も新たなニーズや社会環境の変化に柔軟に適応していくことが求められています。」 28 ページ 工業の振興「⑥企業からの相談体制の充実」の「取組」 「事業所の運営全般にかかわる相談体制を強化するととも

			に、事業者同士の交流や連携の促進につながる取組を支援します。」
19	P. 23 2 取組	温暖化対策をはじめとした環境面での行動計画がない。プラスチックや廃棄物の減量化、4Rの取り組みなど。同時並行でパブコメを求めている環境基本計画や都市計画マスタープランとのすり合わせはどのようにしたのか。	本計画につきましては、本市の最上位計画である「桶川市第六次総合計画」に基づき、その将来像や政策、施策などから、本計画の「基本目標」、「10年後の在りたい姿（状態）」、「取組」までを体系立てて構成していますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 8 ページ 「戦後の復興から昭和の高度経済成長期を経て、時代は平成、令和へと移り、かつての大量生産・大量消費の時代から大きく変化しており、平成27年（2015年）には、国連でSDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）が採択され、人々の暮らしや社会の多様性、経済、環境等の分野など17のゴールを掲げて、目標期間の令和12年（2030年）に向けて世界が取り組んでいます。日本国内においても、持続可能な循環型経済・社会の実現を目指したさまざまな取組が進められており、今後も新たなニーズや社会環境の変化に柔軟に適応していくことが求められています。」
20	P. 23 2 取組	「取組」の欄にある実施内容について、実施方法を具体的に明記。文章ではなく、箇条書きと図式等、分かりやすく。	いただいた御意見につきましては、今後、本計画に沿って取組を細部まで検討し、決定していくものとなりますので、御理解を賜りたく存じます。

21	P. 23 2 取組	「現在までの取組」は、どの程度実施目標をクリアしていて、 今後はどのように取り組む必要があるのか、課題と併せて記載。	「現在までの取組 等」につきましては、これまで本市が行 ってきた事業等を記載しており、各年度で着実に実施してきた 取組です。 今後は、「桶川市第六次総合計画」の中で示されている「政 策の進捗を推し量る指標」及びその他の関連する指標の動向 を確認しながら、本計画に沿ってそれぞれの取組を実施して いくこととなりますので、御理解を賜りたく存じます。
22	P. 23 2 取組	「連携」が目標になっているにも関わらず、取り組みの具体 例がない。数値化できていない。	いただいた御意見の数値化については、「桶川市第六次総合 計画」の商工の分野で示されている「政策の進捗を推し量る 指標」の数値、動向が目標となってまいります。計画を実行 するうえで、それらを把握、分析しながら、細部まで検討を 進めてまいりますので、御理解を賜りたく存じます。
23	P. 24 2 取組 (2)「各種商業関連 団体との連携や活 動の支援」につい て	障害者雇用への取り組みや支援などにも触れていない。他自 治体より遅れた計画となっている。	10年後の在りたい姿(状態)の6つの中で、「若者・女性・ 高齢者・障害者・外国人など、多様な人材が活躍できている」 に記載しています。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めま す。 24ページ 商業の振興「②各種商業関連団体との連携や活動の支援」の 「取組」 「また、多様な人材の確保や・・・」
24	P. 25 2 取組	キーワードに国際性またはグローバル化がない。	10年後の在りたい姿(状態)の6つのイメージを端的に 分かりやすくキーワードとして示しています。

	(3)「新たな事業を 起こす小規模事業 者の活動を支援」 について		いただいた御意見にあります通り、グローバル化など近年の動向も踏まえて、基本目標と10年後の在りたい姿(状態)、キーワードを記載していますので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 8 ページ 「一方、国内産業は、グローバル化のなかで半導体等のテクノロジー開発やIT関連の進展をはじめとして各分野で技術革新が進んでおり、第一次産業から自動車や電気機器等のメーカー、小売や物流、サービスまで、さまざまな業界で生産効率の向上や販路の開拓等に加え、カーボンニュートラルなど環境対策への取組も加速し、新たな需要創出や拡大と併せて、企業等における社会的責任の意識向上と実効性のある取組実施の動きも目立っています。」
25	P. 25 2 取組 (3)「新たな事業を 起こす小規模事業 者の活動を支援」 について	道の駅を念頭に置いた、農業との連携や六次産業への支援もない。	いただいた御意見につきましては、「桶川市の概況」に本市を取り巻く状況や地域特性などについても言及しており、本計画はこれらを踏まえて検討し、とりまとめているので、御理解を賜りたく存じます。 なお、いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 24 ページ 商業の振興「②各種商業関連団体との連携や活動の支援」の「取組」

			「さらに、地産地消の取組や産業・観光の面などさまざまな地域資源を生かした取組の活性化や・・・支援します。」 25 ページ 商業の振興「③新たな事業を起こす小規模事業者の活動を支援」の「取組」 「創業相談にかかわる支援の体制や窓口での対応力を強化するとともに、既存の事業者も含めた新事業の立ち上げやビジネスモデルの試行等、さまざまなチャレンジと事業基盤の確立に向けた取組を支援し、産業の育成にも努めます。 また、既存及び新規の事業の安定化が図られるよう、販路の開拓や収益力の向上、さらに、事業者間の連携や情報発信力の強化等につながる取組を支援します。」
26	P. 30 2 取組 (8)「関係機関と連携・協力し、企業の競争力向上のための支援」について	「事業所や製品等の認知度やブランド力の向上を図るための取組を支援します」とあるが、行政の支援には、限界があり、行き過ぎないような歯止めの表現が必要。または誤解を与えないように、具体的支援内容を明記する。	いただいた御意見を受けまして、次のとおり改めます。 24 ページ 商業の振興「②各種商業関連団体との連携や活動の支援」の「取組」 「…事業者間の連携を支援し、製品のブランド力等の向上にもつながる取組を支援します。」 30 ページ 工業の振興「⑧関係機関と連携・協力し、企業の競争力向上のための支援」の「取組」 「…支援するとともに、製品のブランド力等の向上にもつながる取組を支援します。」

第6章 計画の実現に向けて

No.	ページ番号 項目	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する市の考え方
27	P. 32 1 計画の実現に向けた4者の役割	「4者の役割の遂行・協力・補完イメージ」には不足が多い。 これまでの意見を反映した修正を求める。	いただいた御意見を受け、次のとおり改めます。なお、「4者の役割の遂行・協力・補完イメージ」は社会環境や本市を取り巻く状況、によって変化するものと考えていますので、御理解を賜りたく存じます。 32ページ 計画の実現に向けて「1 計画の実現に向けた4者の役割」の「4者の役割の遂行・協力・補完イメージ」の「商工会」 「・商工業者の活躍機会の創出」 「事業者」 「・市民を積極的に雇用、多様な人材の確保に努める」 「・働きやすい環境の整備に努める」 「市民」 「・市内業者を積極的に活用する」 「・環境意識を持った購買行動を心がける」
28	P. 32 1 計画の実現に向けた4者の役割	第6章の計画の実現について実現するための方法をもっと具体的に記載。このままでは今までの計画をそのまま継続するのみと見える。例えば、「～を強化する」などという文言は、具体的にどんな取り組みを実施して強化となるのか。「強化」という内容の具体的なイメージを、計画作成者間で話し合いが必要かと。	計画を実現するための方法につきましては、「計画の実現に向けた進捗管理について」及び「桶川市第六次総合計画「政策の進捗を推し量る指標」等について」に記載していますとおり、PDCAサイクルを用いて進捗管理を行い、取組を実施します。 PDCAサイクルのC（検証）では、「政策の進捗を推し量

			る指標」及びその他の関連する指標を基に統計等による定量的な検証、また、商工振興委員会による見解から多方面による検証を行う事で、社会環境や本市を取り巻く状況に応じた取組を実施できると考えています。 具体的な取組については上記のサイクルを踏まえて検討していく必要があると考えていますので、御理解を賜りたく存じます。
29	P. 34 3 桶川市第六次総合計画「政策の進捗を押し量る指標」等について	数値目標について現状値に、平成 28 年の数字があるような目標はいかなものか。その数字を向上させるために、どのような取組を実施し、改良していくのか。具体的に取り組んだ内容が数値に反映される指標にした方がいいのではありませんか。中間評価もしっかり行い、計画の改良は必須である。	本計画は、上位計画となる「桶川市第六次総合計画」に基づき推進する計画です。 そのため、「桶川市第六次総合計画」の中で示されている「政策の進捗を押し量る指標」及びその他の関連する指標の動向を確認しながら、上位計画の範囲内で本計画を実施する必要がありますので、御理解を賜りたく存じます。 また、いただいた御意見につきましては、今後本計画を実施する際の参考にさせていただきたいと存じます。
30	P. 34 3 桶川市第六次総合計画「政策の進捗を押し量る指標」等について	6つのキーワード「多様性」「連携」「デジタル化」「新規参入」「事業継続」「にぎわい創出」に沿った数値目標にすべき。	本計画の数値目標については、本計画の上位計画である「桶川市第六次総合計画」の中で示されている「政策の進捗を押し量る指標」及びその他の関連する指標の動向を確認しながら本計画を実施する必要がありますので、御理解を賜りたく存じます。